

第5部 健康教育と学校体育

第1章 令和6年度健康教育の方針と重点

県民が生涯を通じて、心身ともに健康で明るく豊かな生活を送るために、健康教育を推進するとともに、生涯にわたって継続して運動に親しむことが重要な課題である。

これを踏まえ、以下のような方針と重点を設定して、積極的に諸施策の推進に努める。

－方針－

○運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる

－重点－

- 自主的に健康管理する能力や態度の育成
- 運動に親しむ資質や能力の育成と体力の向上
- 健康に関する管理・教育の充実と健康被害・事件事故等の未然防止

第1節 学校保健

1 現況

健康を保持増進し、安全の確保を図ることは、あらゆる教育活動の基盤を培うものであり、健康な心と体で充実した生活を送ることは人生の目的である。

本県においては、関係機関、団体との連携を密にしながら、学校保健についての諸施策を積極的に推進してきた。この結果、昨年度日本学校保健会が主催する「全国健康づくり推進学校表彰」において、瑞穂市立穂積小学校が最優秀賞（全国1位）を、白川村立白川郷学園が優秀賞を受賞した。また、全日本学校歯科保健優良校表彰では、恵那市立大井第二小学校及び恵那市立武並小学校が優秀賞（全国1位）を、関市立金竜小学校と岐阜県立中濃特別支援学校が日本学校歯科医会会長賞を受賞するなど、岐阜県の健康教育に関する取組が高く評価された。

しかし、児童生徒の健康課題を見ると、薬物乱用、歯周炎、弱視、感染症やアレルギー疾患の対応、生活習慣病の低年齢化、不登校やいじめなどの心の健康問題など新たな課題が生じてきている。

このため、各学校においては、計画的な健康管理の徹底と日常生活に密着した保健管理・教育の充実を図り、進んで健康で安全な生活を営む能力や態度の育成に努めなければならない。これらの推進に当たっては、全校体制による組織的活動の充実強化と、家庭や地域社会と一層緊密な連携を図ることが必要である。

2 令和5年度の事業実績

(1) 学校保健指導

ア 高等学校・特別支援学校保健講習会	参集・オンライン開催
イ 小・中学校保健講習会（各教育事務所ごとに開催）	参集・オンライン開催
ウ 環境衛生活動優良校・学校歯科保健優良校	84校（園）
エ 歯・口の健康づくり推進指定校（2023～2024）	輪之内町立仁木小学校
オ 学校保健総合支援事業	がん教育モデル授業5校実施
カ 薬物乱用防止教室講習会	多治見市立陶都中学校
キ 食物アレルギー対策事業	専門医等の派遣 15回

- (2) 児童生徒の健康管理
- ア 尿検査（県立学校全員） 受診38,587人（うち要精検1,154人）
 - イ 心電図集団検診（県立高校1年＋県立特別支援学校〈小・中・高1年〉）
受診13,070人（うち要精検642人）
 - ウ 胸部X線直接撮影（県立高校1年＋県立特別支援学校〈小・中・高1年〉）
受診12,651人（うち要精検 31人）
- (3) 各種団体との連携
- ア 県医師会、県歯科医師会、県学校薬剤師会との連携
 - イ 県学校保健会との連携並びに指導助言
 - ウ 県教育研究会保健部会・養護教諭部会との連携並びに指導助言

3 令和6年度の施策

「生涯を通じて健康で安全に生き抜く力を身に付けた児童生徒の育成」を重点とし、次に掲げる施策を積極的に推進する。

- (1) 学校保健推進体制の充実強化
- ア 外部講師の協力を得たがん教育の推進
 - イ 危機管理対応シミュレーション研修の実施
- (2) 指導者の資質の向上
- ア 各種講習会の内容の充実と運営の改善
 - イ 学校保健に関する実践的研究の推進
 - ウ 医師、歯科医師、薬剤師、大学の教授、臨床心理士等の講師派遣
- (3) 保健教育指導・管理の充実強化
- ア 保健に関する施策の促進
 - イ 健康診断と事後措置の徹底
 - ウ 疾病異常のある児童生徒の管理と指導の強化
 - エ 学校環境衛生検査の実施
 - オ 様々な健康課題に対する健康相談の実施
 - カ 学校・家庭・地域社会の連携強化

4 令和6年度の子な事業計画

- (1) 保健教育の充実
- ア 学校保健活動の振興
 - ・学校保健に関する指導助言
 - ・外部講師の協力を得たがん教育の推進
 - ・生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業（輪之内町立仁木小学校）
 - ・学校歯科保健推進指定校（養老町）
 - ・環境衛生活動、学校歯科保健優良校等表彰事業
 - イ 指導者の資質の向上
 - ・学校保健講習会等の開催
 - ・薬物乱用防止教室講習会の開催
 - ・健康教育指導者養成研修への受講者派遣
- (2) 保健管理の充実
- ア 学校環境衛生活動の推進
 - ・学校環境衛生活動調査（Web調査）の実施
 - ・優良校等の取組の普及啓発

イ 児童生徒の健康診断

- ・心電図集団検診の実施
(県立高校1年生、県立特別支援学校高等部1年生
 中学生部1年生、小学部1・4年生)
- ・岐阜県方式による学校検尿の実施
(県立学校全員)
- ・結核対策委員会の開催
- ・胸部X線直接撮影(高校1年生)

(3) 組織活動の充実

- ア 危機管理対応研修の充実
- イ 関係団体等の連携強化
- ウ 健康教育支援事業
- エ 食物アレルギー対策事業

- ・教育事務所を通じての指導助言
- ・学校保健関係団体等の指導助言
- ・地域における連携体制の強化
- ・市町村が主催する研修会へ専門医を派遣

(4) 国庫補助事業の指導

- ア 要保護児童生徒援助費補助金
- イ へき地児童生徒援助費等補助金

第2節 学校給食

1 現 況

学校給食は、これまで「児童生徒の心身の健全な発達に資する」ことをねらいとして、学校の教育活動の一環として実施されてきた。このため、本県においては、学校給食の普及はもちろん、栄養のバランスのとれた魅力ある食事の提供と、給食の時間を通して望ましい食習慣の形成や勤労奉仕の精神、連帯感、責任感等の育成が図られるよう努めてきた。この結果、学校給食の実施率は小・中学校とも100パーセント普及し、食事内容は年々向上してきている。

しかし、近年、食生活の多様化が進み、偏った栄養摂取など児童生徒の食生活の乱れや肥満・痩身傾向などが見られ、学校において食育を推進することが喫緊の課題となっている。同時に、本来食に関する課題を中心となって担うべき家庭においても、保護者自身の食生活の在り方が問題になっている。

このような中、平成17年に食育の推進を国民運動として総合的・計画的に推進するための「食育基本法」が施行され、翌年には「食育推進基本計画」が決定された。また、平成21年には学校給食法が改正され、学校における食育の推進が目的に位置付けられるとともに、学校給食管理に加えて食に関する指導も本務とする栄養教諭が、学校給食を活用した食に関する指導を充実させることについても明記された。

これらを受け、本県においては、「岐阜県教育振興基本計画」の重要施策の一つに食育の推進を掲げ、学校給食の果たす今日的役割を認識し、時代に即応した魅力ある学校給食が実施できるよう取り組み、「児童生徒が食に関する正しい知識と適切な判断力を養う」ことができるよう、学校の教育活動全体を通して食に関する指導を行っているところである。特に、学校給食は、食事についての正しい理解と健全な食生活を営むための判断力の育成や望ましい食習慣、社交性や協同の精神、感謝の心や勤労を重んずる態度、食文化についての理解などの場として位置付く大切な教育活動である。したがって、学校の実態や児童生徒の発達段階に応じて魅力ある給食の時間を設定するとともに、学校給食を生きた教材として活用した食育の推進を図っていかねばならない。そのため、食育推進の中核を担う栄養教諭を平

成21年度以降、3人から80人に大幅に増員し、それ以降も配置を進めた。令和5年度は県立特別支援学校においても栄養教諭の任用替えを進め、17人の栄養教諭を配置した。また、各学校の食に関する指導の全体計画や年間指導計画を作成したり、校内食育推進委員会を設置したり、校内での指導体制の充実を図ってきた。さらに、家庭や地域との連携による食育推進委員会等の組織体制の整備を進めているところである。

学校給食施設設備においては、その整備に努力してきたところであるが、施設の老朽化、調理員の雇用等の状況を踏まえ、外部調理委託等へ切り替えていくなど、学校給食の安定的な供給を図るために、提供形態に係る調整を進める。また、学校給食への県内産農産物の活用については、安全安心な食事の提供や食に関する指導の充実を図るために、「学校給食地産地消推進事業」により、県産米、小麦粉、米粉、大豆、きのこ類、県内産青果物（野菜、果物等）、県内産畜産物（牛肉、豚肉）及び水産物を補助対象品目とし、県内産農畜水産物の一層の需要拡大を図っている。

2 令和5年度の事業実績

(1) 学校給食指導

ア 研修会の実施

- ・栄養教諭・学校栄養職員研修会
- ・市町村教育委員会及び県立学校給食担当者会

イ 学校及び研究団体の指導

- ・計画及び要請による学校給食等に関する指導・助言

ウ (公財) 岐阜県学校給食会に対する定期的な運営会議による指導監督

エ 国庫補助事業の指導

- ・要保護・準要保護児童生徒援助費補助

(2) 学校給食の衛生管理指導

ア 市町村の学校給食施設設備に係る指導・助言及び国庫補助事業の適正な指導監督

イ 学校給食の衛生管理等に関する調査研究（文部科学省支出委任）

- ・市町村学校給食施設6箇所
- ・県立学校6校
- ・市町村立学校6校

(3) 学校給食の栄養管理指導

給食物資の適正な品質確保と管理の徹底

- ・学校給食用パン抜き取り検査

(4) 学校給食の物資管理

給食物資の適正な品質確保と管理の徹底

- ・学校給食用パン抜き取り検査

(5) 食に関する指導

G I F U食のマイスタープロジェクト事業

- ・県内全ての小学6年生児童（17,600人）に「家庭の食育マイスター」委嘱状を交付学校と家庭をつなぐ食育を推進
- ・小学生を対象とした「食のプロフェッショナル・味覚の授業」により、食の大切さや楽しさを学ぶ食育を推進
- ・「中学生学校給食選手権」における食の実践力の育成（応募校30校）
- ・「高校生食育リーダー」において食の専門家を希望する高校へ派遣し、ライフスタイルに応じた食生活を切り拓く力の育成（派遣校10校14講座）

(6) 学校給食等実態調査

児童生徒の実態及び食に関する指導等の状況把握

3 令和6年度の施策

子どもたちが自ら望ましい食生活を実践できる態度を身に付けることができるよう、次の3つの柱で栄養教諭を中核とした学校における食育を推進する。

(1) 食に関する意識の向上

＜具体的な取組例＞

- ・食に関する指導の全体計画に基づき、指導内容を関連付けた指導
- ・デジタル化に対応した指導
- ・G I F U食のマイスタープロジェクト事業の活用

(2) 朝食欠食者の減少

＜具体的な取組例＞

- ・効果的な朝食指導の方法の工夫
- ・研修会等での実践交流

(3) 地場産物の活用維持

＜具体的な取組例＞

- ・「給食の時間」や「食育の日」における指導の充実
- ・「食文化」を学ぶ食に関する指導の充実
- ・地場産物を活用する献立の工夫

4 令和6年度 of 主な事業計画

(1) 給食管理の充実・衛生管理の徹底

- ア 県内産農畜水産物の利用促進
- イ 学校給食用牛乳飲用の推進
- ウ 学校給食の衛生管理等に関する調査研究（文部科学省支出委任）の推進

(2) 食に関する指導の充実

- ア 指導者の資質の向上
 - ・栄養教諭及び学校栄養職員に対する研修会の開催並びに指導助言
- イ G I F U食のマイスタープロジェクト事業
 - ・家庭の食育マイスター
 - ・食のプロフェッショナル・味覚の授業
 - ・中学生学校給食選手権
 - ・高校生食育リーダー
- ウ 栄養教諭を中核とした食育推進指定校事業
 - ・瑞浪市立土岐小学校、恵那特別支援学校を指定

(3) 学校給食等に関する調査の実施

- ア 学校給食等実態調査の実施
- イ 学校給食地場産物使用割合調査の実施
- ウ 学校給食栄養報告の実施
- エ 学校給食実施状況等調査の実施

第3節 学校安全

1 現 況

学校を取り巻く諸環境は、社会情勢に伴い大きく変化している。従来からの交通安全や防

犯に加え、災害安全が重要になってきている。特に、学校における防災管理及び防災教育の推進が求められている。

学校安全の推進にあたっては、校内の組織体制の充実はもとより、家庭、地域、警察等と密接な連携を図ることが必要である。

また、「自分の安全は自分で守る」という観点から、すべての教育活動を通して、児童生徒自身の「危険予測能力」「危険回避能力」「危険対処能力」等の育成に努めなければならない。

2 令和5年度の事業実績

(1) 学校安全

- ア 安全に関する資料や交通事故等に関する資料等の配布
- イ 学校安全指導者養成研修（中央研修会）
- ウ 学校安全講習会
 - ・令和5年5月16日（火）～令和5年6月12日（水）オンライン及び参集で実施
- エ 学校安全指導者（防災・交通安全）派遣事業
 - ・指導者の派遣実績 延べ320校
- オ 高校生防災アクション
- カ 学校教育ネット安心・安全推進事業
 - ・ネットパトロールの実施
- キ 危機管理マニュアルの点検、見直し
 - ・不審者侵入防止、Jアラート対応等を重点とした危機管理マニュアルの点検

3 令和6年度の施策

(1) 学校安全

学校安全計画及び危機管理マニュアルを見直し（学校や地域、児童生徒の実態に応じたものに改善）、安全な学校生活を送ることが出来る環境づくりに心がけると同時に、安全管理・教育に関する意識の高揚を図る。

- ア 防災管理・教育の推進（指導者派遣事業）
- イ 危機管理体制の見直し（危機管理マニュアルの見直し、改善）
- ウ 交通事故防止の徹底、交通安全教育の推進、通学路安全推進体制の構築
- エ 効果的な安全点検の実施
- オ 高校生防災アクションの実施
- カ 情報モラル教育の推進

4 令和6年度の子な事業計画

(1) 学校安全

- ア 安全に関する資料や交通事故等に関する資料などの配布
- イ 学校安全指導者養成研修
- ウ 学校安全講習会（交通安全・生活安全・災害安全）
- エ 学校安全指導者（防災・交通安全）派遣事業
- オ 学校防災力向上講座等の研修事業
- カ 学校安全総合支援事業
- キ 学校教育ネット安心・安全推進事業
- ク 学校防災強靱化推進事業
- ケ 学校防災体制支援事業

第4節 部活動

1 現 況

教育活動の一環として行う運動部活動は、スポーツの楽しさに加えて、体力の向上や人間的成長、友達づくりが充実するなど多くの効果をあげると同時に、学生生活の充実の一助となっている。

一方、運動部活動は多くの課題を抱える状況にある。顧問の業務負担や実技指導の問題や行きすぎた指導、部員数の減少などが取りあげられる。このような状況下において、運動部活動の意義を改めて踏まえるとともに、休日の部活動を新たな地域クラブ活動へ移行していくために、令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）を実施し、持続可能な運営の在り方を検討し、実践していく必要がある。

2 令和5年度の事業実績

(1) 運動部活動

ア 運動部指導者派遣・研修事業

対象学校・派遣人数・回数 高等学校、特別支援学校・89人・年間24回（1人につき24回）、研修会（6月11日 ハイブリッド開催 100人）

イ 地域指導者育成研修会 県ライセンス取得者 785人

3 令和6年度の施策

(1) 運動部活動

望ましい運動部活動の具現化のために、次の点について配慮する。

ア 体育・保健体育及び体育的行事、運動部活動等の関連を図り、基礎的な体力を培う。

イ 活動目標を明確にし、能力や意欲に応じた指導に努める。

ウ 保護者及び、地域の社会人指導者との連携を図り、活動内容の充実を図る。

エ 運動部活動の適正化を図るため、休養日や活動時間を設定し、生徒の健康に留意した活動とする。

オ 顧問の負担軽減と生徒に対する技術指導の向上を図る。

カ 部活動ガイドラインに則った運用を推進する。

キ 休日の部活動を新たな地域クラブ活動への移行を推進する。

4 令和6年度の子な事業計画

(1) 運動部活動

ア 運動部活動指導技術向上講習会（トレーニング法・バスケットボール・バドミントン【女子指導法】）

イ 運動部指導者派遣・研修事業（高等学校89人・年間24回（1人につき24回））

ウ 部活動ガイドラインに沿った研修会（6月21日 対象：管理職、部活動担当教員、部顧問）

エ 地域クラブ指導者育成研修会

オ 地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）

第5節 学校体育

1 現 況

児童生徒に運動習慣を身に付けさせるため、学校ごとに特色ある活動に体力づくりを位置付け推進している学校が増えている。

身に付けさせたい資質や能力を明らかにし、指導目標や評価規準を明確にした授業実践や研究会が多くなっている。

一人一人が運動の楽しさや喜びを味わうとともに、運動技能や学び方を身に付けることができる指導を充実する必要がある。

2 令和5年度の事業実績

(1) 指導者講習会の実施

ア 小学校体力向上マネジメント指導者講習会

岐阜地区	(7月27日・28日)	参加者	102名
西濃地区	(8月3日)	参加者	74名
美濃地区	(7月24日)	参加者	41名
可茂地区	(7月25日)	参加者	39名
東濃地区	(8月1日)	参加者	60名
飛騨地区	(8月2日)	参加者	33名

イ 中学校体力向上マネジメント指導者講習会

岐阜地区	(8月2日)	参加者	51名
飛騨地区	(8月1日)	参加者	22名

(2) 児童生徒の体力向上

ア 体力優良校表彰

表彰校数(小学校 6校、中学校 6校、高等学校 5校、特別支援学校 1校)

イ チャレンジスポーツinぎふ

参加チーム数(累計2,511チーム)

参加校数(小学校 281校、中学校 30校)

ウ 児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査

抽出校による新体力テストの実施により、小学校・中学校・高等学校の実態を調査するとともに、その結果についてまとめ、各学校における体力づくりの資料として活用できるように工夫した。

エ ぎふっこダンスフェスティバル

10校28チームが参加

3 令和6年度の施策

(1) 自ら運動に親しむ資質や能力を育て、体力の向上を図る。

ア 児童生徒が運動技能を身に付け、仲間と一緒に運動する楽しさや喜びを味わうことができるようにする。

イ 新体力テストなどで把握した実態を基に、発達の段階に即した適切な運動の機会を計画的・継続的に位置付け、体力の向上を図るようにする。

ウ 体育、保健体育科の指導については、学習指導要領を理解させるとともに、運動の特性及び児童生徒の実態を踏まえ、指導のねらいと評価規準を明確にした指導計画を作成する。また、一人一人の学習状況を的確にとらえ、指導と評価の一体化を図った展開を工夫し、個やグループに応じたきめ細かな指導を充実させる。

- (2) 体育、保健体育の時間はもとより、日常生活における運動実践の場を充実させる。
- ア 小学校では、多様な運動経験を大切にし、体育の時間や体育的行事等との関連を図った日常的な運動実践の場を充実させる。
 - イ 中学校、高等学校では、運動部活動へ意欲的に参加させ、学校教育活動に充実感をもたらすよう、運営方法や指導方法について工夫する。
 - ウ 生涯スポーツの基盤づくりと体力の向上を目指し、学校・家庭・地域社会における体育的实践を通して、自ら進んで運動を実践する習慣を身に付けることができるようにする。
- (3) 児童生徒の安全を確保するとともに、十分な運動量が確保できるよう、環境整備に努める。

4 令和6年度の主な事業計画

(1) 各種講習会の実施

- ア 小学校体力向上マネジメント指導者講習会 (岐阜市 7/23「ボール運動」)
(岐阜地区 7/30「ボール運動」)
(西濃地区 7/30「ボール運動」)
(美濃・可茂地区 8/1「体づくり運動」)
(東濃地区 7/31「リズム系ダンス」)
(飛騨地区 8/2「リズム系ダンス」)
- イ 中学校体力向上マネジメント指導者講習会 (美濃・可茂地区 8/2「球技・保健分野」)
(東濃地区 8/1「球技・保健分野」)
- ウ 高等学校体育実技指導者講習会「球技(ゴール型)」、体力向上マネジメント講習会及びオーバードーズ講習会(11/27)

(2) 児童・生徒の体力向上

- ア 体力優良校表彰…体力づくりの優れた取組をし、成果を収めている学校を表彰
- イ チャレンジスポーツinぎふの各種目の上位チームを表彰
- ウ ぎふっこダンスフェスティバルにて創作ダンスの作品募集をし、応募チームを表彰

(3) 体力・運動能力、運動習慣等調査(4～6月)

- ア 小学校…全学年 小学校(抽出校) 58校
- イ 中学校…全学年 中学校(抽出校) 31校
- ウ 高等学校…全学年 高等学校(全日制) 63校
高等学校(定時制) 11校

◆令和5年度全国高等学校総合体育大会入賞(1～8位)成績

(令和5年7月22日～8月21日：北海道、山形県、栃木県、和歌山県)

成績	競技種目名	団体種目	所属	競技種目名	個人種目・氏名(学年)	所属
優勝	フェンシング	女子学校対抗	岐阜総合学園	陸上競技	男子円盤投 松田 流輝(3)	市岐阜商
				ウエイトリフティング	男子73kg級トータル 吉村 悠希(3)	土岐商
				ウエイトリフティング	男子73kg級リフト(リフト) 吉村 悠希(3)	上岐商
				フェンシング	女子フルーレ 長瀬 凛乃(3)	岐阜総合学園
2位	ホッケー	女子	岐阜各務野	レスリング	女子74kg級 坂井 愛(2)	岐阜工
				空手道	女子個人形 江口 紗凜(3)	済美
				アーチェリー	男子個人 坂尾 尚優汰(3)	大垣西

成績	競技種目名	団体種目	所属	競技種目名	個人種目・氏名(学年)	所属	
3位	ボート フェンシング 自転車競技	女子ダブルスカル 男子学校対抗 男子チームスプリント	加茂 大垣南 岐阜第一	相撲 相撲 レスリング フェンシング 競泳	男子個人80kg級 男子個人100kg級 男子個人80kg級 女子フルーレ 女子100m自由形	田島 徳文(2) 池本 颯菜(3) 堤 大智(1) 村瀬 あかり(1) 吉永 晴香(2)	岐阜農林 市岐阜商 高山西 岐阜総合学園 県岐阜商
4位	アーチェリー 弓道	女子団体 男子団体	聖マリア女学院 中京	ウエトリフティング	男子73kg級スラッシュ	吉村 悠希(3)	土岐商
5位	アーチェリー 卓球 ソフトテニス テニス 空手道 柔道	男子団体 女子ダブルス 女子団体 男子団体 男子ダブルス 女子団体組手 女子団体	大垣西 富田 県岐阜商 麗澤瑞浪 麗澤瑞浪 済美 美濃加茂	陸上競技 陸上競技 レスリング テニス 自転車競技 ボクシング ボクシング ボクシング ウエトリフティング フェンシング 少林寺拳法	男子円盤投 女子やり投 女子50kg級 男子シングルス 男子67kg級スラッシュ ピン級 ライトフライ級 ウェルター級 男子67kg級スラッシュ 男子フルーレ 男子単独演武	田中 伸明(2) 櫻井 希美(3) 今井 七彩(3) 桃山 晃(3) 児玉 東次郎(2) 日比 琉聖(1) 上村 和己(3) 永治 光清(3) 深萱 煌志(2) 高橋 橙生(3) 船橋 一矢(2)	市岐阜商 済美 高山西 麗澤瑞浪 岐阜第一 岐阜工 岐阜工 中京 土岐商 大垣南 岐阜北
6位	自転車競技 弓道	男子4kmチームスプリント 女子団体	岐南工 大垣商	新体操 ウエトリフティング フェンシング	女子クラブ 男子67kg級スラッシュ 女子サーブル	筋野 麗美(3) 深萱 煌志(2) 奥村 春香(2)	済美 土岐商 大垣南
7位	ヨット	女子コンバインド	海津明誠	自転車競技	女子ケイリン	仲井 リコ(3)	岐阜第一
8位				新体操 新体操 ウエトリフティング フェンシング フェンシング フェンシング 自転車競技 競泳	女子個人 女子ボール 男子67kg級スラッシュ 男子サーブル 女子サーブル 女子エペ 男子4km速度競争 女子50m自由形	筋野 麗美(3) 筋野 麗美(3) 深萱 煌志(2) 中井 蓮太郎(3) 清水 美伶(2) 柳生 紗来(2) 細江 星矢(3) 吉永 晴香(2)	済美 済美 土岐商 岐阜各務野 大垣南 大垣養老 岐阜第一 県岐阜商

◆全国高等学校総合体育大会年度別入賞数(平成21年度～令和5年度)

年度	21		22		23		24		25		26		27		28		29		30		R1		R2		R3		R4		R5	
	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人
優勝	0	4	5	5	3	8	2	7	4	0	2	5	2	3	1	5	3	1	1	2	3	2	-	-	2	7	3	6	1	4
ベスト4	6	8	3	15	9	10	11	17	8	18	7	11	10	14	9	11	6	8	6	9	5	8	-	-	2	21	3	11	6	9
ベスト8	7	21	5	9	8	21	10	23	6	21	9	19	7	15	4	6	6	16	9	12	6	17	-	-	6	22	5	13	10	23
合計	46		42		59		70		57		53		51		36		40		39		41		-		60		41		53	

◆種目別全国大会入賞(1～8位)成績

○令和5年度 第61回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

2023年度全日本高校生ピストル射撃競技選手権大会

(7月25日～31日 広島県 つつがライフル射撃場)

競技	順位	種目名		氏名	学校	学年
団体の部	優勝	エアライフル	男子団体		済美	
	優勝	エアライフル	女子団体		済美	
	7位	ビームライフル	女子団体		済美	
個人の部	優勝	ビームピストル	女子60発競技	柚木 泉	済美	2
	4位	10mエアライフル	男子立射40発競技	長屋 光珀	済美	3
	4位	ビームライフル	男子立射40発競技	工藤 秀真	関有知	3
	4位	10mエアライフル	女子立射40発競技	堀 綺希	済美	3
	5位	ビームピストル	男子60発競技	長屋 佳芽	済美	1
	6位	10mエアライフル	男子立射40発競技	高岡 優介	済美	2
	7位	エアピストル	男子60発競技	長屋 佳芽	済美	1
	8位	10mエアライフル	男子立射40発競技	清水 達成	済美	3

○令和5年度 第39回全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会

(8月17日～20日 滋賀県 ウカルちゃんアリーナ)

競技	順位	種目名		氏名	学校	学年
レスリング	8位	男子51kg級		伊藤 慶大	中津商	3
レスリング	8位	男子80kg級		堤 大智	高山西	1

○令和5年度 第68回全国高等学校軟式野球選手権大会

(8月24日～29日・兵庫県 明石トーカ球場、ウインク球場、姫路球場)

競技	順位	学校
軟式野球	優勝	中京

◆令和5年度 全国高等学校定時制通信制体育大会入賞(1～8位)

(7月28日～8月21日 東京都他)

成績	競技種目名	団体種目・区分	所属	競技種目名	個人種目・氏名(学年)	所属
優勝				陸上競技	女子100mハードル 所 絢音(1)	東濃フロンティア
5位	バレーボール	男子	華陽フロンティア(定)			
7位				陸上競技	男子砲丸投 竹政 柊人(3)	華陽フロンティア(定)

◆令和5年度 全国中学校体育大会 入賞成績

【個人種目】

No.	成績	出場種目	氏名	学年	学校名	備考
1	ベスト8	柔道 男子73kg級	岩崎 康汰朗	2	本巢市立真正中学校	
2	ベスト8	柔道 女子57kg級	堀 菜月	3	羽島市立竹鼻中学校	
3	ベスト8	相撲 個人	春日井 雅大	3	岐阜木曜クラブ	

◆全国中学校体育大会年度別入賞数（平成25～令和5年度）

順位	H25		H26		H27		H28		H29		H30		R1		R3		R4		R5		
	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	
1位	1	4		4		3		1		1											
2位	1	4		3	1	1		2				1									
3位		3		3		1		1		2	1	1			1	1		2			
入賞	1	4	4	6	2	5	1	2		1	3	5		4	1	1	1	6			3
計	18		20		13		7		4		11		4		4		9		3		
平均	12.4										6.2										

【夏季大会における過去5年間の出場チーム数及び出場選手数の推移】

	H30	R1	R3	R4	R5	5年間の平均
出場チーム数（団体）	19	13	15	15	17	15.8
出場選手人数（団体・個人）	241	161	161	157	167	177.4

- *全国大会出場条件
- ・標準記録（陸上、水泳）
 - ・県大会優勝（柔道、剣道、相撲）
 - ・東海予選突破（上記以外の種目）
 - ・東海予選突破（上記以外の種目）

令和6年7月発行

発行 岐阜県教育委員会

編集 岐阜県教育委員会事務局

教育総務課

